

注3

大学番号：228

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

関西福祉科学大学 心理科学部 心理科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉手山学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 運営企画室

職名・氏名 室長 ナガイ 永井 ヨウイチ 洋一

電話番号 072-978-0088

（夜間） 072-942-0153

F A X 072-978-0377

e-mail ynagai@tamateyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理科学部

＜心理科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	50
8. 別紙資料	55

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉手山学園

(2) 大学名

関西福祉科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ハッタ タケン) 八田 武志 (平成26年4月1日)		
学部長	(ヤマダ フミオ) 山田 富美雄 (平成28年4月1日)		
学科長等		(ヤマダ フミオ) 山田 富美雄 (平成28年4月1日)	変更理由：学科運営を円滑に行うため、学部長が学科長を兼務する。 変更年月日：平成28年4月1日 (28)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理科学部 心理科学科 学士(心理学)	文学関係	4年	110人	3年次 10人	460人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	110 (0) [0]	人	110 (0) [0]	人	110 (10) [0]	人	110 (10) [0]	人	0.90倍	倍	
志願者数	209 (0) [0]	(-) [-]	159 (0) [0]	(-) [-]	183 (12) [0]	(-) [-]	257 (12) [0]	(-) [-]			
受験者数	208 (0) [0]	(-) [-]	154 (0) [0]	(-) [-]	177 (12) [0]	(-) [-]	252 (12) [0]	(-) [-]			
合格者数	197 (0) [0]	(-) [-]	148 (0) [0]	(-) [-]	169 (11) [0]	(-) [-]	230 (12) [0]	(-) [-]			
B 入学者数	104 (0) [0]	(-) [-]	85 (0) [0]	(-) [-]	82 (11) [0]	(-) [-]	126 (10) [0]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.94		0.77		0.77		1.13				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	104 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (-)	0 [-] (-)	82 [-] (-)	0 [-] (-)	126 [-] (-)	0 [-] (-)			・平成29年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(29) ・平成30年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(30) ・平成30年度3年次生には、編入学生11名を含む(30) ・令和元年度3年次生には、編入学生10名を含む(元)
2年次	/		100 [-] (-)	0 [-] (-)	85 [-] (-)	0 [-] (-)	78 [-] (-)	0 [-] (-)			
3年次	/		/		104 [-] (-)	0 [-] (-)	90 [-] (-)	0 [-] (-)			
4年次	/		/		/		98 [-] (-)	0 [-] (-)			
計	104 [-] (-)		185 [-] (-)		271 [-] (-)		392 [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	104 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、経済事情(1人)
平成29年度	185 人	8 人	平成28年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(4人)、学力不足(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(1人)
			平成29年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
平成30年度	271 人	15 人	平成28年度	7 人	0 人	就職(3人)、就学意欲の低下(2人)、その他(2人)
			平成29年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成30年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)
令和元年度	392 人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		28 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の数値については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{104} = \boxed{4.8} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{185} = \boxed{4.32} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{15}{271} = \boxed{5.53} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{392} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理科学部 心理科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1						兼6
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1						兼6
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	1	1				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			6	1					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			2						兼7
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2			3		1				兼4
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2									兼14
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼3
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼3
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼3
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼3
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1
	総合英語Ⅲ	2前	2									兼1
	総合英語Ⅳ	2後	2									兼1
	オーラルコミュニケーション	1前	2									兼1
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1
	フランス語Ⅱ	1後	2									兼1
	中国語Ⅰ	1前	2									兼1
	中国語Ⅱ	1後	2									兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								
情報処理学Ⅱ		1後	1									兼3
コンピュータサイエンス		2前	2									兼1
健康スポーツ	保健体育	1前	2									兼1
	体育実技	1前・後	1									兼2
基礎分野	地理学	1後	2									兼1
	化学入門	1前	1									兼1
	基礎数学	1前	1									兼1
	生物学入門	1前	1									兼1
	物理学入門	1後	1									兼1
	基礎科学概論	1前	2									兼2
	生命科学概論	1前	2									兼2
	統計学	1後	1									兼1
	哲学	1前	2									兼1
	人間学	1後	2									兼1
	倫理学	1後	2									兼1
	心理学	1前	2				1					
人間と社会	法学	1前	2									兼1
	日本国憲法	1後	2									兼1
	人権教育	1前	2									兼1
	経済学	1前	2									兼1
	政治学	1前	2									兼1
	社会学	1後	2									兼1
	国際関係論	1後	2									兼1
	現代史	1後	2									兼1
	外国史	1前	2									兼1
	日本史	1後	2									兼1
	外国語で親しむ心理学	2前	2									兼1
	社会福祉概論	1前	2									兼1
	人間関係論	2前	2									兼1
	レクリエーション論	2前	2									兼1
	疲労とストレスの科学	4前	2									兼1
	キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1								
心理の現場と症例理解		3後	1			1						
小計(55科目)	—	20	80	0	9	2	1	0	0		兼64	
専門基礎科目	医学概論	2後	2			1						
専門共通科目	社会福祉学	3後	2									兼1
	精神医学概論	3前	2			1						
	対人関係論	2後	2									兼1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	1	1				兼20
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	1	1				兼20
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5		1				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			4	2					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			2						兼7
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2			3	1					兼4
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2									兼15
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼8
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼9
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1
	総合英語Ⅲ(未開講)	2前	2									兼1
	総合英語Ⅳ	2後	2									兼1
	オーラルコミュニケーション	1前	2									兼1
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1
	フランス語Ⅱ	1後	2									兼1
	中国語Ⅰ	1前	2									兼1
	中国語Ⅱ	1後	2									兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								
情報処理学Ⅱ		1後	1									兼3
コンピュータサイエンス(未開講)		2前	2									兼1
健康スポーツ	保健体育	1前	2									兼1
	体育実技	1後	1									兼2
基礎分野	地理学	1後	2									兼1
	化学入門	1前	1									兼1
	基礎数学	1前	1									兼1
	生物学入門	1前	1									兼1
	物理学入門	1後	1									兼1
	基礎科学概論	1前	2									兼2
	生命科学概論	1前	2									兼2
	統計学	1後	1									兼1
	哲学	1前	2									兼1
	人間学	1後	2									兼1
	倫理学	1後	2									兼1
	心理学	1前	2					1				
人間と社会	法学	1前	2									兼1
	日本国憲法	1後	2									兼1
	人権教育	1前	2									兼1
	経済学	1前	2									兼1
	政治学	1前	2									兼1
	社会学	1後	2									兼1
	国際関係論	1後	2									兼1
	現代史	1後	2									兼1
	外国史	1前	2									兼1
	日本史	1後	2									兼1
	外国語で親しむ心理学(未開講)	2前	2						1			
	社会福祉概論	1前	2									兼1
	人間関係論	2前	2									兼1
	レクリエーション論	2前	2									兼1
	疲労とストレスの科学	4前	2									兼1
	キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1								
心理の現場と症例理解		3後	1			1						
小計(55科目)	—	20	80	0	9	3	1	0	0		兼77	
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病	2後	2			1						
専門共通科目	福祉心理学	3後	2									兼1
	精神疾患とその治療	3前	2			1						
	対人関係論	2後	2									兼1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	1				兼21
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	1				兼21
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	2				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			6	1				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		2					兼7
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3	1				兼4
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2					1		兼15
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2							兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼3
	総合英語Ⅰ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	総合英語Ⅲ	2前		2							兼1
	総合英語Ⅳ	2後		2							兼1
	オールラウンドコミュニケーション	1前		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
	中国語Ⅰ	1前		2							兼1
	中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前		1						
情報処理学Ⅱ		1後		1							兼3
コンピュータサイエンス		2前		2							兼1
基礎分野	保健体育	1前		2							兼1
	体育実技	1後		1							兼2
自然と科学	地理学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		1							兼1
	基礎数学	1前		1							兼1
	生物学入門	1前		1							兼1
	物理学入門	1後		1							兼1
	基礎科学概論	1前		2							兼2
	生命科学概論	1前		2							兼2
	統計学	1後		1							兼1
	哲学	1前		2							兼1
	人間学	1後		2							兼1
	倫理学	1後		2							兼1
人間と社会	心理学	1前		2			1				兼1
	法学	1前		2							兼1
	日本国憲法	1後		2							兼1
	人権教育	1前		2							兼1
	経済学	1前		2							兼1
	政治学	1前		2							兼1
	社会学	1後		2							兼1
	国際関係論	1後		2							兼1
	現代史	1後		2							兼1
	外国史	1前		2							兼1
	日本史	1後		2							兼1
	外国語で親しむ心理学	2前		2				1			
	社会福祉概論	1前		2							兼1
人間関係論	2前		2							兼1	
レクリエーション論	2前		2							兼1	
疲労とストレスの科学	4前		2							兼1	
キャリア	キャリアデザイン	2前		1							兼11
	心理の現場と症例理解	3後		1		1					
	小計(55科目)	—	20	80	0	9	1	3	0	0	兼81
専門基礎科目	医学概論	2後		2		1					
	社会福祉学	3後		2							兼1
	精神医学概論	3前		2		1					
	対人関係論	2後		2							兼1
	肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2							兼1
	広汎性発達障害総論	3前		2							兼1
	特異的発達障害総論	3前		2							兼1
専門共通科目	医学一般Ⅰ	1後		2		1					
	社会福祉原論Ⅰ	3前		2							兼1
	社会福祉原論Ⅱ	3後		2							兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2				1				兼21
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				1				兼21
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	2				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			6	1				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		2					兼7
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3	1				兼4
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2					1		兼15
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2							兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼9
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼9
	総合英語Ⅰ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	総合英語Ⅲ	2前		2							兼1
	総合英語Ⅳ	2後		2							兼1
	オールラウンドコミュニケーション	1前		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
	中国語Ⅰ	1前		2							兼1
	中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前		1						
情報処理学Ⅱ		1後		1							兼3
コンピュータサイエンス		2前		2							兼1
基礎分野	保健体育	1前		2							兼1
	体育実技	1後		1							兼2
自然と科学	地理学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		1							兼1
	基礎数学	1前		1							兼1
	生物学入門	1前		1							兼1
	物理学入門	1後		1							兼1
	基礎科学概論	1前		2							兼2
	生命科学概論	1前		2							兼2
	統計学	1後		1							兼1
	哲学	1前		2							兼1
	人間学	1後		2							兼1
	倫理学	1後		2							兼1
人間と社会	心理学	1前		2				1			兼1
	法学	1前		2							兼1
	日本国憲法	1後		2							兼1
	人権教育	1前		2							兼1
	経済学	1前		2							兼1
	政治学	1前		2							兼1
	社会学	1後		2							兼1
	国際関係論	1後		2							兼1
	現代史	1後		2							兼1
	外国史	1前		2							兼1
	日本史	1後		2							兼1
	外国語で親しむ心理学	2前		2					1		
	社会福祉概論	1前		2							兼1
人間関係論	2前		2							兼1	
レクリエーション論	2前		2							兼1	
疲労とストレスの科学	4前		2							兼1	
キャリア	キャリアデザイン	2前		1							兼10
	心理の現場と症例理解	3後		1		1					
	小計(55科目)	—	20	80	0	9	1	3	0	0	兼80
専門基礎科目	医学概論	2後		2		1					
	社会福祉学	3後		2							兼1
	精神医学概論	3前		2		1					
	対人関係論	2後		2							兼1
	肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2							兼1
	広汎性発達障害総論	3前		2							兼1
	特異的発達障害総論	3前		2							兼1
専門共通科目	医学一般Ⅰ	1後		2		1					
	社会福祉原論Ⅰ	3前		2							兼1
	社会福祉原論Ⅱ	3後		2							兼1

専 門 科 目	コ ー ス 共 通 科 目	心理療法論Ⅰ	3後	2			1														
		ストレスマネジメント論	4前		2		1														
		精神分析学	3前		2		1														
		青年心理学	3前		2		1														
		中高年の臨床心理	4前		2		1														
		乳幼児心理学	2前		2		1														
		認知心理学	1後		2			1													
		発達心理学	1前	2			1														
		発達臨床心理学	2前		2		1														
		犯罪心理学	4前		2		1														
		ポジティブ心理学	3前	2			1														
		臨床心理学	1前	2			1														
		研究演習Ⅰ	3前	2			10	1	3												
		研究演習Ⅱ	3後	2			10	1	3												
		研究演習Ⅲ	4前	2			10	1	3												
		研究演習Ⅳ	4後	2			10	1	3												
小計(56科目)	—	36	70	0	10	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6		
合計(152科目)	—	58	231	0	10	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼97		

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。

なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。

また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原理、教育心理学の全ての単位を修得すること。

(履修科目の登録の上限:24単位(半期))

専 門 科 目	コ ー ス 共 通 科 目	心理療法論Ⅰ	3後	2			1														
		ストレスマネジメント論	4前		2		1														
		精神分析学	3前		2		1														
		青年心理学	3前		2		1														
		中高年の臨床心理	4前		2		1														
		乳幼児心理学	2前		2		1														
		認知心理学	1後		2			1													
		発達心理学	1前	2			1														
		発達臨床心理学	2前		2		1														
		犯罪心理学	4前		2		1														
		ポジティブ心理学	3前	2			1														
		臨床心理学	1前	2			1														
		研究演習Ⅰ	3前	2			10	2	2												
		研究演習Ⅱ	3後	2			10	2	2												
		研究演習Ⅲ	4前	2			10	2	2												
		研究演習Ⅳ	4後	2			10	2	2												
小計(56科目)	—	36	70	0	10	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6		
合計(152科目)	—	58	231	0	10	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼95		

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。

なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。

また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原理、教育心理学の全ての単位を修得すること。

(履修科目の登録の上限:24単位(半期))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2				2					兼21
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				2					兼21
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	1	1				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			6	1					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		2						兼7
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3		1				兼4
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2								兼15
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2								兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼8
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼8
	総合英語Ⅰ	1前		2								兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2								兼1
	総合英語Ⅲ	2前		2								兼1
	総合英語Ⅳ	2後		2								兼1
	オールラウンドコミュニケーション	1前		2								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前		2								兼1
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								
情報処理学Ⅱ		1後	1									兼3
コンピュータサイエンス		2前		2								兼1
スポーツ	保健体育	1前		2								兼1
	体育実技	1後		1								兼2
基礎分野	地理学	1後		2								兼1
	化学入門	1前		1								兼1
	基礎数学	1前		1								兼1
	生物学入門	1前		1								兼1
	物理学入門	1後		1								兼1
	基礎科学概論	1前		2								兼2
	生命科学概論	1前		2								兼2
	統計学	1後		1								兼1
	哲学	1前		2								兼1
	人間学	1後		2								兼1
	倫理学	1後		2								兼1
	心理学	1前		2			1					
	法学	1前		2								兼1
	日本国憲法	1後		2								兼1
人権教育	1前		2								兼1	
経済学	1前		2								兼1	
政治学	1前		2								兼1	
社会学	1後		2								兼1	
国際関係論	1後		2								兼1	
現代史	1後		2								兼1	
外国史	1前		2								兼1	
日本史	1後		2								兼1	
外国語で親しむ心理学	2前		2				1					
社会福祉概論	1前		2								兼1	
人間関係論	2前		2								兼1	
レクリエーション論	2前		2								兼1	
疲労とストレスの科学	4前		2								兼1	
キャリアデザイン	2前	1									兼8	
心理の現場と症例理解	3後	1			1							
小計 (55科目)	—	20	80	0	9	3	2	0	0		兼79	
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病	2後		2		1						
	福祉心理学	3後		2								兼1
	精神疾患とその治療	3前		2		1						
	対人関係論	2後		2								兼1
	肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2								兼1
	広汎性発達障害総論	3前		2								兼1
	特異的発達障害総論	3後		2								兼1
精神保健福祉士科目	医学一般Ⅰ	1後		2		1						
	社会福祉原論Ⅰ	3前		2								兼1
	社会福祉原論Ⅱ	3後		2								兼1

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について担当教員を追加（講師0→1、兼6→21）
- ・ 専任教員退職の理由により、「基礎ゼミナールⅢ」について担当教員を変更（准教授1→0、講師1→2）
- ・ 教育内容の充実を図るため、「総合教養Ⅲ-健康の世界-」について担当教員を追加（兼14→15）
- ・ 全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」について担当教員を追加（兼3→9）
- ・ 時間割編成上の都合により、「体育実技」について1前・後期から後期のみ開講へ変更
- ・ 教育指導体制の充実及び見直しのため「外国語で親しみ心理学」について兼任教員を専任として新規採用（兼1→0、講師0→1）
- ・ 専任教員退職の理由により、「学校心理学」「児童心理学」「心理アセスメント実習Ⅱ」「心理学実践領域実習Ⅱ」について担当教員を変更（准教授1→0、講師0→1）
- ・ 教育指導体制の充実及び見直しのため、「心理学外書講読」について兼任教員を専任として新規採用（兼1→0、准教授0→1）
- ・ 専任教員退職の理由により、「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について担当教員を変更（准教授2→1、講師2→3）

【平成29年度】

- ・ 授業運営体制の見直しに伴い「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（教授1→0）
- ・ 全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について担当教員を追加（兼3→9）
- ・ 「キャリアデザイン」について、担当教員の就任辞退に伴い減員。現員で対応可能なため後任補充なし（兼11→10）
- ・ 「精神保健福祉援助技術各論Ⅱ」について、就任辞退に伴い担当者を変更（兼1→0、准教授0→1）
- ・ 「精神保健福祉援助演習（基礎）」「精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ、Ⅱ」「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」「精神保健福祉援助実習」について、担当教員の昇任に伴う変更（准教授0→1、講師1→0）
- ・ 「心理学概論」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を1後から1前へ変更
- ・ 教育指導体制の充実のため、「心理学基礎実験実習Ⅰ、Ⅱ」について担当教員を追加（教授0→1）
- ・ 「心理学研究法Ⅰ」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を1前から1後へ変更
- ・ 「心理統計法Ⅰ」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を1後から1前へ変更
- ・ 「発達心理学」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を1前から1後へ変更
- ・ 「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について、担当教員の昇任に伴う変更（准教授1→2、講師3→2）

【平成30年度】

- ・ 「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、全学共通で授業を運営するため担当教員を追加、及び担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→2）
- ・ 「基礎ゼミナールⅢ」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師2→1、准教授0→1）
- ・ 「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（兼9→8）
- ・ 「キャリアデザイン」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（兼10→8）
- ・ 「医学概論」について、公認心理師受験資格対応のため「人体の構造と機能及び疾病」へ名称変更
- ・ 「社会福祉学」について、公認心理師受験資格対応のため「福祉心理学」へ名称変更
- ・ 「精神医学概論」について、公認心理師受験資格対応のため「精神疾患とその治療」へ名称変更
- ・ 「特異的発達障害総論」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を3前から3後へ変更
- ・ 「障害児(者)心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「障害者・障害児心理学」へ名称変更
- ・ 「生理心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「神経・生理心理学」へ名称変更
- ・ 「カウンセリング論」について、公認心理師受験資格対応のため「心理学的支援法」へ名称変更
- ・ 「学習心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更
- ・ 「学校心理学」「児童心理学」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→1）
- ・ 「環境心理学」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を3前から3後へ変更
- ・ 「教育心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「教育・学校心理学」へ名称変更
- ・ 「健康心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「健康・医療心理学」へ名称変更
- ・ 「社会心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「社会・集団・家族心理学」へ名称変更
- ・ 「人格(性格)心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「感情・人格心理学」へ名称変更
- ・ 「心理アセスメント実習Ⅰ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理的アセスメントⅠ」へ名称変更、及び教育指導上の教員配置見直しに伴う変更（教授1→0、准教授0→1）
- ・ 「心理アセスメント実習Ⅱ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理的アセスメントⅡ」へ名称変更、及び教育指導上の教員配置見直しに伴う変更（教授1→2、講師1→0）
- ・ 「心理学基礎実験実習Ⅰ、Ⅱ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理学実験Ⅰ、Ⅱ」へ名称変更
- ・ 「心理学実践領域実習Ⅰ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理演習Ⅰ」へ名称変更、及び公認心理師演習実習担当教員要件に基づく変更（教授1→5、准教授0→2、講師1→2）
- ・ 「心理学実践領域実習Ⅱ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理演習Ⅱ」へ名称変更
- ・ 「心理統計法Ⅰ、Ⅱ」について、公認心理師受験資格対応のため「心理学統計法Ⅰ、Ⅱ」へ名称変更
- ・ 「認知心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「知覚・認知心理学」へ名称変更
- ・ 「犯罪心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「司法・犯罪心理学」へ名称変更
- ・ 「臨床心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「臨床心理学概論」へ名称変更
- ・ 「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について、担当教員の昇任及び教育指導上の教員配置見直しに伴う変更。現員で対応可能なため後任補充なし（講師2→1）
- ・ 「公認心理師の職責」「心理実習」について、公認心理師受験資格対応のため新規開設
- ・ 「関係行政論」について、公認心理師受験資格対応のため新規開設。担当者未定のため、開講までに配置予定

【令和元年度】

- ・「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、全学共通で授業を運営するため担当教員を変更、専任教員の新規採用及び退職に伴う変更（教授0→1、准教授2→1、講師0→1、兼任21→20）
- ・「基礎ゼミナールⅢ」について、専任教員退職のため減員。現員で対応可能なため後任補充なし（准教授1→0）
- ・「基礎ゼミナールⅣ」について、教育指導上の教員配置見直しのため減員。現員で対応可能なため後任補充なし（教授6→4、准教授1→2）
- ・「総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→1）
- ・「英語コミュニケーションⅣ」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を増員（兼8→9）
- ・「医療心理学」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→1）
- ・「心理臨床と面接」について、教育指導上の教員配置見直しに伴う変更（教授1→0、兼任0→1）
- ・「神経・生理心理学」について、専任教員の新規採用に伴う変更（講師0→1、兼任1→0）
- ・「心理学的支援法」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→1）
- ・「学校心理学」について、専任教員の退職に伴う変更（准教授1→0、兼任0→1）
- ・「環境心理学」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を変更（3後→3前）。教育指導上の教員配置見直し及び専任教員の新規採用に伴う変更（教授1→0、講師0→1）
- ・「行動分析学」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を変更（3前→3後）。教育指導上の教員配置見直しに伴う変更（講師1→0、兼任0→1）
- ・「児童心理学」について、専任教員の退職に伴う変更（准教授1→0、兼任0→1）
- ・「心理演習Ⅰ」について、公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（教授5→3、講師2→1）
- ・「心理演習Ⅱ」について、担当教員の昇任に伴う変更（講師1→0、准教授0→1）
- ・「研究演習Ⅰ、Ⅱ」について、担当教員の昇任及び教育指導上の教員配置見直しに伴い減員。現員で対応可能なため後任補充なし（教授10→9、准教授2→3、講師1→0）
- ・「研究演習Ⅲ、Ⅳ」について、担当教員の昇任及び専任教員退職に伴う変更（講師1→0、兼任0→1）
- ・「関係行政論」について、後任決定に伴う変更（兼任0→4）

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	118 科目	科目	152 科目	34 科目 [0]	121 科目 [3]	科目 []	155 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{152} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 関西女子短期大学 (収容定員：700人/面積基準： 7,000㎡) 関西福祉科学大学高等学校(収 容定員：1,410人/面積基準： 15,480㎡) 関西女子短期大学附属幼稚園 (収容定員：495人/面積基準： 3,160㎡) 学園総合体育館(別地) 所要時間：徒歩5分 距離：400 m ・平成28年3月校地・校舎等の 変更届出済み(28)		
	校 舎 敷 地	0㎡	44,930㎡	2,422㎡ 0㎡	47,352㎡ 44,930㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	5,976㎡	8,080㎡	14,056㎡			
	小 計	0㎡	50,906㎡	10,502㎡ 8,080㎡	61,408㎡ 58,986㎡			
	そ の 他	2,160㎡	33,961㎡	0㎡ 2,422㎡	36,121㎡ 38,543㎡			
	合 計	2,160㎡	84,867㎡	10,502㎡	97,529㎡			
(2) 校 舎	専 用	27,636㎡ 27,570㎡ (26,990㎡) (27,252㎡)	共 用 5,643㎡ (5,643㎡)	共用する他の 学校等の専用 8,067㎡ (8,713㎡) (8,385㎡)	計 41,346㎡ 41,280㎡ (41,346㎡) (41,280㎡)	【共用する学校】 関西女子短期大学 ・平成30年3月校地・校舎等の変更 届出済み(30) ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み(28)		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	34室 32室 33室	24室 30室	53室 46室 41室 39室	3室 2人 3人 4人 (補助職員 7人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 ・講義室・実験実習室：講義室を 実験実習室・実験実習室を講義室 に改修。実験棟を改修。短期大学 使用教室を大学実験実習室に改修 (29) (30) (元) ・補助職員：令和元年5月1日の雇 用実績に基づき変更(元) ・補助職員：平成30年5月1日の雇 用実績に基づき変更(30) ・補助職員：平成28年5月1日の雇 用実績に基づき変更(28)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		講師は2名で1室 専任教員の昇任に伴い改修(30) (元)		
	心理科学部 心理科学科			15 16 13 14	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部関連図書等は大学図書館所蔵 のみ。 大学・短大全体の共用分(心理科 学部関連図書を含む) 図書 約130,000冊 約128,000冊 約122,700冊 約129,000冊 〔約6,300冊〕 〔約7,000冊〕 〔約9,500冊〕 視聴覚資料 約4,300点 約5,400点 約5,800点 学術雑誌 約1,200種 ・利用実績のない古い視聴覚資料 (VHS)を廃棄する一方、必要な図 書等は拡充又は計画通り購入して おり、修学に支障は生じない (29) (30) (元) ・新設学部に重点を置き、関連図 書を購入したため増加(28) ・機械・器具：新設学部に重点を おき、既設・新設実験室等に機 械・器具を購入したため増加 (29) (30) (元)
	心理科学部 心理科学科	20,733 [2,039] 20,608 [2,036] 20,377 [2,035] 20,226 [2,646] 19,244 [2,588] (20,680 [2,039]) (20,508 [2,036]) (20,227 [2,035]) (19,986 [2,646]) (18,884 [2,588])	25 [7] 20 [7]	5 [0]	994 1,133 1,117 (994) (989) (1,121) (1,093) (1,057)	1,324 900 887 869 (1,324) (900) (887) (869)	0 (0)	
	計	20,733 [2,039] 20,608 [2,036] 20,377 [2,035] 20,226 [2,646] 19,244 [2,588] (20,680 [2,039]) (20,508 [2,036]) (20,227 [2,035]) (19,986 [2,646]) (18,884 [2,588])	25 [7] 20 [7]	5 [0]	994 1,133 1,117 (994) (989) (1,121) (1,093) (1,057)	1,324 900 887 869 (1,324) (900) (887) (869)	0 (0)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体（関西女子短期大学での共用分を含む） <短大> 面積：442㎡ 閲覧座席数：80席 収容可能冊数：53,000冊 ・修学に支障のない範囲で、第2書庫を実習室に転用したことによる(29)		
	1,173㎡ 1,246㎡		305席		102,000冊 111,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 （関西女子短期大学での共用分含む）		
	7,053㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費（電子ジャーナルの整備費含む） 共同研究費等は大学全体 ・図書購入費：新設学部に重点を置き、関連図書を購入したため増加(28) ・設備購入費：教育内容をより充実させるため、更新の前倒し、設備の追加購入を行ったことによる(29) ・共同研究費等：共同研究費等の予算の一部を教育改革推進に使用することにしたことによる減額(30)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,752千円 2,667千円	2,317千円	2,117千円	
		共同研究費等	9,500千円 8,000千円	6,500千円 8,000千円	設備購入費	776千円 600千円	3,152千円 600千円	600千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		関西福祉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
社会福祉学部										
社会福祉学科	4	140	3年次 20	600	学士 (社会福祉学)	1.08	—	平成9年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目11番1号	平成28年度入学定員△ 40、3年次編入△20
臨床心理学科	4	—	3年次 20	—	学士 (臨床心理学)	—	—	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集 停止(3年次編入学定員は 平成30年4月学生募集停 止)
心理科学部										
心理科学科	4	110	3年次 10	460	学士 (心理科学)	0.90	—	平成28年度	同上	
健康福祉学部										
健康科学科	4	80	3年次 10	340	学士 (健康科学)	1.00	—	平成15年度	同上	
福祉栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 (福祉栄養学)	0.92	—	平成15年度	同上	
保健医療学部										
リハビリテーション学科		170		680		1.01	—			
理学療法学専攻	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.00	—	平成23年度	同上	
作業療法学専攻	4	50	—	200	学士 (作業療法学)	1.09	—	平成23年度	同上	平成28年度入学定員+10
言語聴覚学専攻	4	40	—	160	学士 (言語聴覚学)	0.93	—	平成27年度	同上	
教育学部										
教育学科	4	100		400		0.78	—			
子ども教育専攻	4	50	—	200	学士 (教育学)	0.55	—	平成28年度	同上	
発達支援教育専攻	4	50	—	200	学士 (教育学)	1.02	—	平成28年度	同上	
大学全体	—	680	20	2810	—	0.96	—	—	—	
大学の名称		関西福祉科学大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率		開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
社会福祉学研究科										
臨床福祉学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士 (臨床福祉学)	0.17		平成13年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目11番1号	
臨床福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (臨床福祉学)	0.33		平成15年度	同上	
心理臨床学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (心理臨床学)	0.65		平成15年度	同上	
大学院全体	—	33	—	69	—	0.33	—	—	—	

大学 の 名 称		関西女子短期大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率		開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
保育学科	2	120	—	240	短期大学士 (保育学)	0.75		昭和40年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目11番1号	平成28年度入学定員+20
養護保健学科	2	40	—	80	短期大学士 (保健学)	1.03		昭和42年度	同上	
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士 (歯科衛生学)	1.13		平成17年度	同上	
医療秘書学科	2	40	—	80	短期大学士 (保健学)	0.67		平成23年度	同上	平成28年度入学定員△20
短期大学全体	—	300	—	700	—	0.90	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<心理科学部 心理科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (64) <平成28年4月> 文学博士	専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (64) <平成28年4月> 文学博士	専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (65) <平成29年4月> 文学博士	専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (66) <平成30年10月> 文学博士
		基礎ゼミナールⅣ 産業・組織心理学 環境心理学 健康心理学 心理学概論 ストレスマネジメント論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			基礎ゼミナールⅣ 産業・組織心理学 環境心理学 健康心理学 心理学概論 ストレスマネジメント論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			産業・組織心理学 環境心理学 健康心理学 心理学概論 ストレスマネジメント論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 基礎ゼミナールⅢ 心理学基礎実験Ⅱ※			産業・組織心理学 環境心理学 健康・医療心理学 心理学概論 ストレスマネジメント論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 基礎ゼミナールⅢ 心理学実験Ⅱ※ 公認心理師の職責
						専	教授	相谷 登 (57) <平成29年10月> 教育学修士	専	教授	相谷 登 (58) <平成29年10月> 教育学修士
								基礎ゼミナールⅣ			基礎ゼミナールⅣ
									専	講師	松本 敦 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)
											環境心理学
専	教授	相谷 登 (56) <平成28年4月> 教育学修士	専	教授	相谷 登 (56) <平成28年4月> 教育学修士	専	教授	相谷 登 (57) <平成29年10月> 教育学修士	専	教授	相谷 登 (58) <平成30年4月> 教育学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 家族心理学 人格(性格)心理学 心理学史 犯罪心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 家族心理学 人格(性格)心理学 心理学史 犯罪心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			総合教養Ⅰ-河内学-※ 家族心理学 人格(性格)心理学 心理学史 犯罪心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 基礎ゼミナールⅣ			総合教養Ⅰ-河内学-※ 家族心理学 感情・人格心理学 心理学史 犯罪心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 基礎ゼミナールⅣ 心理演習Ⅰ※ 心理実習
						専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (65) <平成29年4月> 文学博士	専	教授 (学部長兼学科長)	山田 富美雄 (66) <平成29年4月> 文学博士
								基礎ゼミナールⅢ			基礎ゼミナールⅢ
									専	教授	川上 範夫 (73) <令和元年10月> 教育学修士
											心理演習Ⅰ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専	教授	栗村(佐野) 昭子 (55) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅣ 心理アセスメント実習Ⅰ※ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	栗村(佐野) 昭子 (55) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅣ 心理アセスメント実習Ⅰ※ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	栗村(佐野) 昭子 (56) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅣ 心理アセスメント実習Ⅰ※ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	栗村(佐野) 昭子 (57) <平成30年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅣ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学概論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理的アセスメントⅡ※ 心理演習Ⅰ※ 心理実習	専	教授	栗村(佐野) 昭子 (58) <令和元年10月> 文学修士	基礎ゼミナールⅣ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学概論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理的アセスメントⅡ※ 心理実習
								専	准教授	竹橋 洋毅 (39) <令和2年4月> 心理学博士	心理的アセスメントⅠ※								
												専	講師	松本 教 (40) <令和2年4月> 博士(心理学)	心理的アセスメントⅠ※				
												専	教授	島井 哲志 (68) <令和元年10月> 博士(医学)	心理演習Ⅰ※				
専	教授	宇恵 弘 (51) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計法Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	宇恵 弘 (51) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計法Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	宇恵 弘 (52) <平成29年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計法Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理学基礎実験実習Ⅰ※	専	教授	宇恵 弘 (53) <平成30年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育・学校心理学 健康とスポーツの心理学 心理学統計法Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理学実験Ⅰ※	専	教授	宇恵 弘 (54) <平成30年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育・学校心理学 健康とスポーツの心理学 心理学統計法Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理学実験Ⅰ※
専	教授	柏木 雄次郎 (61) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医学概論 精神医学概論 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	柏木 雄次郎 (61) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医学概論 精神医学概論 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	柏木 雄次郎 (62) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医学概論 精神医学概論 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	柏木 雄次郎 (63) <令和元年10月> 博士(医学)	基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理演習Ⅰ※ 心理実習	専	教授	柏木 雄次郎 (64) <令和元年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理実習 基礎ゼミナールⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名												
												専任	准教授	津田 恭充 (39) <令和元年10月> 博士(心理学)
														基礎ゼミナールIV
												専任	講師	松本 教 (40) <令和元年10月> 博士(心理学)
														心理演習I※
専任	教授	亀島(最上) 信也 (60) <平成28年4月> Ph.D (アメリカ)	専任	教授	亀島(最上) 信也 (60) <平成28年4月> Ph.D (アメリカ)	専任	教授	亀島(最上) 信也 (61) <平成28年4月> Ph.D (アメリカ)	専任	教授	亀島(最上) 信也 (62) <平成28年4月> Ph.D (アメリカ)	専任	教授	亀島(最上) 信也 (63) <平成31年4月> Ph.D (アメリカ)
		基礎ゼミナールIII			基礎ゼミナールIII			基礎ゼミナールIII			基礎ゼミナールIII			基礎ゼミナールI
		基礎ゼミナールIV			基礎ゼミナールIV			基礎ゼミナールIV			基礎ゼミナールIV			基礎ゼミナールII
		総合教養II-「こころ」 について学ぶ※												
		比較行動学												
		心理学研究法I												
		心理学研究法II												
		発達心理学												
		研究演習I												
		研究演習II												
		研究演習III												
		研究演習IV												
専任	教授	川上 範夫 (70) <平成28年4月> 教育学修士	専任	教授	川上 範夫 (70) <平成28年4月> 教育学修士	専任	教授	川上 範夫 (71) <平成28年4月> 教育学修士	専任	教授	川上 範夫 (72) <平成28年4月> 教育学修士	専任	教授	川上 範夫 (73) <平成31年4月> 教育学修士
		心理療法論II												
		心身関係論												
		心理療法論I												
		精神分析学												
		研究演習I												
		研究演習II												
		研究演習III												
		研究演習IV												
														心理演習I※
専任	准教授	櫻井 秀雄 (53) <平成28年4月> 文学修士	専任	准教授	櫻井 秀雄 (53) <平成28年4月> 文学修士	専任	准教授	櫻井 秀雄 (54) <平成28年4月> 文学修士	専任	准教授	櫻井 秀雄 (55) <平成31年4月> 文学修士	専任	准教授	櫻井 秀雄 (56) <平成31年4月> 文学修士
		基礎ゼミナールIII												
		総合教養II-「こころ」 について学ぶ※												
		障害児(者)心理学												
		心理臨床とイメージ												
		心理アセスメント実習II※												
		心理学実践領域実習I※												
		発達臨床心理学												
		研究演習I												
		研究演習II												
		研究演習III												
		研究演習IV												
														心理演習I※
														心理演習II※
														心理実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専任	准教授	渡部(神谷) 敦子 (42) <平成28年4月>								
		基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ								
			専任	講師	竹橋 洋毅 (37) <平成28年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専任	講師	竹橋 洋毅 (38) <平成28年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
									専任	准教授
										竹橋 洋毅 (39) <平成28年4月> 心理学博士
										基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
									専任	教授
										栗村(佐野) 昭子 (58) <令和2年10月> 文学修士
										心理的アセスメントⅡ※
									専任	講師
										津田 恭光 (38) <令和2年4月> 博士(心理学)
										心理演習Ⅱ※
									専任	准教授
										木村 志保 (49) <令和元年10月> 修士(保健福祉学)
										精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
			専任	講師	木村 志保 (47) <平成28年4月> 修士(保健福祉学)	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専任	講師	木村 志保 (48) <平成29年4月> 修士(保健福祉学)	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ
										精神保健福祉援助技術各論Ⅱ 心理演習Ⅰ※ 心理実習
									専任	准教授
										木村 志保 (50) <平成31年4月> 修士(保健福祉学)
										精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ 心理実習
			専任	講師	宿谷(金児) 仁美 (44) <平成28年4月> 修士(教育学)	外国語で観しむ心理学	専任	講師	宿谷(金児) 仁美 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)	外国語で観しむ心理学
										宿谷(金児) 仁美 (46) <令和元年10月> 修士(教育学)
										外国語で観しむ心理学 心理演習Ⅰ※ 心理実習
									専任	講師
										松本 教 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)
										外国語で観しむ心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				専	講師	竹橋 洋毅 (37) <平成28年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	准教授	竹橋 洋毅 (39) <平成30年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 心理的アセスメントⅠ※
								専	教授	栗村(佐野) 昭子 (57) <令和2年10月> 文学修士	心理的アセスメントⅡ※
								専	講師	津田 恭亮 (38) <令和元年10月> 博士(心理学)	心理演習Ⅰ※ 心理演習Ⅱ※
								専	教授	亀島(殿上) 信也 (63) <平成31年4月> Ph.D (アメリカ)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
								専	講師	松本 教 (40) <令和2年4月> 博士(心理学)	心理的アセスメントⅠ※
専	講師	津田 恭亮 (36) <平成28年4月> 博士(心理学)	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学 心理アセスメント実習Ⅰ※ 心理学実践領域実習Ⅰ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	講師	津田 恭亮 (36) <平成28年4月> 博士(心理学)	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学 心理アセスメント実習Ⅰ※ 心理学実践領域実習Ⅰ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	講師	津田 恭亮 (37) <平成28年4月> 博士(心理学)	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学 心理アセスメント実習Ⅰ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
								専	講師	竹橋 洋毅 (38) <平成29年10月> 心理学博士	心理学実践領域実習Ⅰ※
								専	教授	柏木 達次郎 (64) <平成31年4月> 博士(医学)	基礎ゼミナールⅢ
				兼任	講師	野田 航 (36) <令和元年10月> 博士(心理学)	行動分析学				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	綾木 仁 (59) <平成28年10月> 医学博士	兼任	教授	綾木 仁 (59) <平成28年10月> 医学博士	兼任	教授	綾木 仁 (60) <平成28年10月> 医学博士	兼任	教授	綾木 仁 (61) <平成28年10月> 医学博士
		総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	伊倉 宏司 (68) <平成28年10月> 農学博士	兼任	教授	伊倉 宏司 (68) <平成28年10月> 農学博士	兼任	教授	伊倉 宏司 (69) <平成28年10月> 農学博士	兼任	教授	伊倉 宏司 (70) <平成28年10月> 農学博士
		総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	遠藤 洋二 (59) <平成30年4月> 修士(臨床教育学)	兼任	教授	遠藤 洋二 (57) <平成30年4月> 修士(臨床教育学)	兼任	教授	遠藤 洋二 (58) <平成30年4月> 修士(臨床教育学)	兼任	教授	遠藤 洋二 (59) <平成30年10月> 修士(臨床教育学)
		公的扶助論 社会福祉行政政論			公的扶助論 社会福祉行政政論			公的扶助論 社会福祉行政政論			公的扶助論
兼任	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	兼任	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	兼任	教授	大川 尚子 (55) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	兼任	教授	大川 尚子 (56) <平成28年4月> 博士(学校教育学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※			総合教養Ⅲ-健康の世界-※			総合教養Ⅲ-健康の世界-※			総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	甲斐 悟 (50) <平成28年4月> 保健学博士	兼任	教授	甲斐 悟 (51) <平成28年4月> 保健学博士	兼任	教授	甲斐 悟 (52) <平成28年4月> 保健学博士	兼任	教授	甲斐 悟 (52) <平成28年4月> 保健学博士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 医学博士	兼任	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 医学博士	兼任	教授	倉恒 弘彦 (62) <平成28年4月> 医学博士	兼任	教授	倉恒 弘彦 (63) <平成28年4月> 医学博士
		総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学			総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学			総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学			総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	教授	齋藤 千鶴 (63) <平成28年4月> 社会学修士	兼任	教授	齋藤 千鶴 (63) <平成29年10月> 社会学修士	兼任	教授	齋藤 千鶴 (64) <平成29年10月> 社会学修士	兼任	教授	齋藤 千鶴 (65) <平成30年4月> 社会学修士
		社会福祉概論 地域福祉論			社会福祉概論 地域福祉論			社会福祉概論 地域福祉論			社会福祉概論 地域福祉論 コミュニティワーク
専任	講師	松本 敦 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)									
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 外国語で楽しむ心理学 神経・生理心理学 環境心理学 心理的アセスメントⅠ※ 心理演習Ⅰ※									
兼任	教授	綾木 仁 (62) <平成28年10月> 医学博士									
		総合教養Ⅳ-栄養-※									
兼任	講師	伊倉 宏司 (71) <平成31年4月> 農学博士									
		化学入門									
兼任	講師	大迫 雅人 (34) <令和元年10月> 食物栄養学修士									
		総合教養Ⅳ-栄養-※									
兼任	教授	遠藤 洋二 (60) <平成30年10月> 修士(臨床教育学)									
		公的扶助論									
兼任	講師	今井 慶宗 (47) <平成30年4月> 修士(法学)									
		社会福祉行政政論									
兼任	教授	大川 尚子 (56) <平成28年4月> 博士(学校教育学)									
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※									
兼任	教授	斉藤 ふくみ (60) <平成31年4月> 博士(保健学)									
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※									
兼任	講師	工藤 芳幸 (41) <平成31年4月> 言語学修士									
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ									
兼任	教授	倉恒 弘彦 (64) <平成28年4月> 医学博士									
		総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学									
兼任	教授	齋藤 千鶴 (66) <平成30年4月> 社会学修士									
		地域福祉論 コミュニティワーク									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	相良 多喜子 (68) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	杉本 敏夫 (67) <平成28年4月> 文学修士	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
兼任	教授	田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理
兼任	教授	津田 耕一 (55) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「ところ」について学ぶ※ 障害者福祉論Ⅰ
兼任	教授	都村(塩山) 尚子 (55) <平成30年10月> 博士(臨床教育学)	権利擁護と成年後見制度
兼任	教授	長見 まき子 (58) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界※
兼任	教授	袴田 俊一 (61) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (70) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	涌上 圭太 (42) <平成28年4月> 修士(社会学)	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (68) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	講師	杉本 敏夫 (67) <平成28年4月> 文学修士	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
兼任	教授	田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理
兼任	教授	津田 耕一 (55) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「ところ」について学ぶ※ 障害者福祉論Ⅰ
兼任	教授	都村(塩山) 尚子 (55) <平成30年10月> 博士(臨床教育学)	権利擁護と成年後見制度
兼任	教授	福田 早苗 (44) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界※
兼任	教授	袴田 俊一 (61) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (70) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	涌上 圭太 (43) <平成28年4月> 修士(社会学)	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (69) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	中村 敏子 (60) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	講師	杉本 敏夫 (68) <平成28年4月> 文学修士	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
兼任	教授	田巻 義孝 (73) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理
兼任	教授	津田 耕一 (56) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「ところ」について学ぶ※ 障害者福祉論Ⅰ
兼任	教授	都村(塩山) 尚子 (54) <平成30年10月> 博士(臨床教育学)	権利擁護と成年後見制度
兼任	教授	福田 早苗 (45) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界※
兼任	教授	袴田 俊一 (62) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (71) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	涌上 圭太 (44) <平成28年4月> 修士(社会学)	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (70) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	中村 敏子 (61) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	安井 理夫 (58) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
兼任	教授	田巻 義孝 (74) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理
兼任	教授	津田 耕一 (57) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「ところ」について学ぶ※
兼任	准教授	柿木 志津江 (43) <平成30年4月> 修士(保健福祉学)	障害者福祉論Ⅰ
兼任	教授	都村(塩山) 尚子 (55) <平成30年10月> 博士(臨床教育学)	権利擁護と成年後見制度
兼任	教授	福田 早苗 (46) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界※
兼任	教授	袴田 俊一 (63) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (72) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	涌上 圭太 (45) <平成28年4月> 修士(社会学)	社会福祉概論
兼任	教授	榑 秀之 (53) <令和元年10月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	中村 敏子 (62) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	安井 理夫 (59) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
兼任	教授	田巻 義孝 (75) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理
兼任	教授	津田 耕一 (58) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「ところ」について学ぶ※
兼任	准教授	柿木 志津江 (44) <平成30年4月> 修士(保健福祉学)	障害者福祉論Ⅰ
兼任	教授	都村(塩山) 尚子 (56) <平成30年10月> 博士(臨床教育学)	権利擁護と成年後見制度
兼任	教授	福田 早苗 (47) <令和2年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 関係行政論※
兼任	教授	袴田 俊一 (64) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (73) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山内 彰 (51) ＜平成28年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ
		英語コミュニケーションⅢ
		英語コミュニケーションⅣ
		総合英語Ⅳ
		総合英語Ⅰ
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山口 美和 (51) ＜平成28年4月＞ 博士(言語文化学)
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
		社会学
兼任	教授	山本 真紀 (51) ＜平成28年4月＞ 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		生物学入門
		生命科学概論※
兼任	教授	吉田 初恵 (56) ＜平成28年4月＞ 修士(商学) 修士(経済学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		経済学
		キャリアデザイン※
		社会保険論Ⅰ
		社会保険論Ⅱ
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	渡辺 正仁 (67) ＜平成28年4月＞ 医学博士
		生命科学概論※
		化学入門
兼任	准教授	有泉 みずほ (43) ＜平成28年10月＞ 修士(生活科学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山内 彰 (51) ＜平成28年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ
		英語コミュニケーションⅢ
		英語コミュニケーションⅣ
		総合英語Ⅳ
		総合英語Ⅰ
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山口 美和 (51) ＜平成28年4月＞ 博士(言語文化学)
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
		社会学
兼任	教授	山本 真紀 (51) ＜平成28年4月＞ 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		生物学入門
		生命科学概論※
兼任	教授	吉田 初恵 (56) ＜平成28年4月＞ 修士(商学) 修士(経済学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		経済学
		キャリアデザイン※
		社会保険論Ⅰ
		社会保険論Ⅱ
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	渡辺 正仁 (67) ＜平成28年4月＞ 医学博士
		生命科学概論※
		化学入門
兼任	准教授	有泉 みずほ (43) ＜平成28年10月＞ 修士(生活科学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山内 彰 (52) ＜平成28年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ
		英語コミュニケーションⅢ
		英語コミュニケーションⅣ
		総合英語Ⅳ
		総合英語Ⅰ
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山口 美和 (52) ＜平成28年4月＞ 博士(言語文化学)
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
		社会学
兼任	教授	山本 真紀 (52) ＜平成28年4月＞ 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		生物学入門
		生命科学概論※
兼任	教授	吉田 初恵 (57) ＜平成28年4月＞ 修士(商学) 修士(経済学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		経済学
		キャリアデザイン※
		社会保険論Ⅰ
		社会保険論Ⅱ
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	渡辺 正仁 (68) ＜平成28年4月＞ 医学博士
		生命科学概論※
		化学入門
兼任	准教授	有泉 みずほ (44) ＜平成28年10月＞ 修士(生活科学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	家高 将明 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		社会福祉原論Ⅰ
		社会福祉原論Ⅱ
兼任	教授	齋藤 千鶴 (65) ＜平成30年4月＞ 社会学修士
		コミュニケーション
兼任	教授	山内 彰 (53) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ
		総合英語Ⅳ
		総合英語Ⅰ
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山口 美和 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(言語文化学)
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
		社会学
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山本 真紀 (53) ＜平成28年4月＞ 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		生物学入門
		生命科学概論※
兼任	教授	吉田 初恵 (58) ＜平成28年4月＞ 修士(商学) 修士(経済学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		経済学
		キャリアデザイン※
		社会保険論Ⅰ
		社会保険論Ⅱ
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	渡辺 正仁 (69) ＜平成28年4月＞ 医学博士
		生命科学概論※
		化学入門
兼任	准教授	有泉 みずほ (45) ＜平成28年10月＞ 修士(生活科学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	家高 将明 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		社会福祉原論Ⅰ
		社会福祉原論Ⅱ
兼任	教授	齋藤 千鶴 (66) ＜平成30年4月＞ 社会学修士
		コミュニケーション
兼任	教授	山内 彰 (54) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ
		英語コミュニケーションⅣ
		総合英語Ⅳ
		総合英語Ⅰ
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山口 美和 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(言語文化学)
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
		社会学
兼任	准教授	家高 将明 (42) ＜平成31年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		キャリアデザイン※
兼任	教授	山本 真紀 (54) ＜平成28年4月＞ 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		生物学入門
		生命科学概論※
兼任	教授	吉田 初恵 (59) ＜平成28年4月＞ 修士(商学) 修士(経済学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※
		経済学
		キャリアデザイン※
		社会保険論Ⅰ
		社会保険論Ⅱ
		基礎ゼミナールⅠ
		基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	早崎 肇 (51) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		生命科学概論※
兼任	講師	伊倉 宏司 (71) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		化学入門
兼任	准教授	有泉 みずほ (46) ＜平成28年10月＞ 修士(生活科学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	池上 徹 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	一村 小百合 (51) <平成28年4月> 修士(社会学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	加藤 美朗 (55) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論
兼任	准教授	木村 貴彦 (40) <平成28年4月> 博士(人間科学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	澤田 崇子 (54) <平成28年10月> 学術博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	治部 哲也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 生理心理学
兼任	准教授	鈴木 具 (43) <平成28年4月> Ph.D in Philosophy (アメリカ)	哲学 倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	池上 徹 (46) <平成28年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (51) <平成28年4月> 修士(社会学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	加藤 美朗 (55) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論
兼任	准教授	木村 貴彦 (40) <平成28年4月> 博士(人間科学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	澤田 崇子 (54) <平成28年10月> 学術博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	治部 哲也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 生理心理学 総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	鈴木 具 (43) <平成28年4月> Ph.D in Philosophy (アメリカ)	哲学 倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	池上 徹 (46) <平成28年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (52) <平成28年4月> 修士(社会学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	加藤 美朗 (56) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論
兼任	准教授	木村 貴彦 (41) <平成28年4月> 博士(人間科学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	澤田 崇子 (55) <平成28年10月> 学術博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	治部 哲也 (46) <平成28年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 生理心理学 総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	鈴木 具 (44) <平成28年4月> Ph.D in Philosophy (アメリカ)	哲学 倫理学 キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	池上 徹 (47) <平成30年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	加藤 友野 (57) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (53) <平成30年4月> 修士(社会学)	レクリエーション論
専任	准教授	久保 信代 (49) <平成30年4月> 教養学学士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	加藤 美朗 (57) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論
兼任	教授	木村 貴彦 (42) <平成30年4月> 博士(人間科学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	澤田 崇子 (56) <平成28年10月> 学術博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	治部 哲也 (47) <平成31年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 神経・生理心理学 総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	久保田 祐歌 (43) <平成30年4月> 文学博士	哲学 倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	池上 徹 (48) <令和2年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 関係行政論※
兼任	准教授	加藤 友野 (58) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (54) <平成30年4月> 修士(社会学)	レクリエーション論
専任	准教授	久保 信代 (50) <平成30年4月> 教養学学士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	加藤 美朗 (58) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論
兼任	教授	木村 貴彦 (43) <平成30年4月> 博士(人間科学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	澤田 崇子 (57) <平成28年10月> 学術博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	治部 哲也 (48) <平成31年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 神経・生理心理学
専任	講師	松本 教 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)	神経・生理心理学
兼任	准教授	久保田 祐歌 (44) <平成30年4月> 文学博士	哲学 倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤原 和美 (57) ＜平成28年4月＞ 博士(保健学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	堀田 千絵 (35) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論
兼任	准教授	松中 久美子 (52) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論
兼任	准教授	松本 明美 (46) ＜平成28年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (43) ＜平成28年4月＞ 博士(医学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※
兼任	講師	家高 将明 (39) ＜平成28年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	廣島 玲子 (57) ＜平成28年4月＞ 博士(理学療法学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	治部 哲也 (45) ＜平成28年4月＞ 修士(文学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	賣田(上杉) 玲子 (48) ＜平成28年4月＞ Master of Social Work(アメリカ)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	堀田 千絵 (35) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論
兼任	准教授	松中 久美子 (52) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論
兼任	准教授	松本 明美 (46) ＜平成28年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (43) ＜平成28年4月＞ 博士(医学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※
兼任	講師	家高 将明 (39) ＜平成28年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	廣島 玲子 (58) ＜平成28年4月＞ 博士(理学療法学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	治部 哲也 (46) ＜平成28年4月＞ 修士(文学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	准教授	賣田(上杉) 玲子 (49) ＜平成28年4月＞ Master of Social Work(アメリカ)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	堀田 千絵 (36) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論
兼任	准教授	松中 久美子 (53) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論
兼任	准教授	松本 明美 (47) ＜平成28年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (44) ＜平成28年4月＞ 博士(医学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※
兼任	准教授	家高 将明 (40) ＜平成29年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	廣島 玲子 (59) ＜平成28年4月＞ 博士(理学療法学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	治部 哲也 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	講師	三田村 知子 (42) ＜平成30年4月＞ 臨床福祉学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	堀田 千絵 (37) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論
兼任	准教授	松中 久美子 (54) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論
兼任	教授	松本 明美 (48) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (45) ＜平成28年4月＞ 博士(医学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※
兼任	准教授	家高 将明 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※ 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ
兼任	講師	間井谷 容代 (51) ＜平成30年4月＞ 学士(学術)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	廣島 玲子 (60) ＜平成28年4月＞ 博士(理学療法学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	治部 哲也 (48) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	講師	三田村 知子 (43) ＜平成30年4月＞ 臨床福祉学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	堀田 千絵 (38) ＜平成28年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論
兼任	准教授	松中 久美子 (55) ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論 関係行政論※
兼任	教授	松本 明美 (49) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	教授	山路 純子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※
兼任	准教授	家高 将明 (42) ＜平成31年4月＞ 博士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※ 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
					西川 潔 (59) <平成29年4月> 教育学修士	西川 潔 (60) <平成29年4月> 教育学修士	西川 潔 (61) <平成29年4月> 教育学修士
				保健体育	保健体育	保健体育	保健体育
			兼任 講師	三村 達也 (49) <平成28年10月> 博士(芸術)	三村 達也 (50) <平成28年10月> 博士(芸術)	三村 達也 (51) <平成28年10月> 博士(芸術)	三村 達也 (52) <平成28年10月> 博士(芸術)
				体育実技	体育実技	体育実技	体育実技
兼任	講師	大又 巧也 (42) <平成28年4月> 修士(理学)	兼任 講師	大又 巧也 (42) <平成28年4月> 修士(理学)	大又 巧也 (43) <平成28年4月> 修士(理学)		
		情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ コンピュータサイエンス		コンピュータサイエンス	コンピュータサイエンス		
			兼任 講師	大森 幸享 (39) <平成28年4月> 修士(文学)	大森 幸享 (40) <平成28年4月> 修士(文学)	大森 幸享 (41) <平成28年4月> 修士(文学)	大森 幸享 (42) <平成28年4月> 修士(文学)
				情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ
兼任	講師	尾崎 勝彦 (59) <令和元年10月> 博士(人間科学)	兼任 講師	尾崎 勝彦 (56) <令和元年10月> 博士(人間科学)	尾崎 勝彦 (57) <令和元年10月> 博士(人間科学)	尾崎 勝彦 (58) <令和元年10月> 博士(人間科学)	尾崎 勝彦 (59) <令和元年10月> 博士(人間科学)
		高齢者心理学		高齢者心理学	高齢者心理学	高齢者心理学	高齢者心理学
			兼任 講師	加藤 典子 (51) <平成28年4月> 博士(文学)	加藤 典子 (52) <平成28年4月> 博士(文学)	加藤 典子 (53) <平成28年4月> 博士(文学)	加藤 典子 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
				英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	加納 光子 (72) <平成29年10月> 修士(社会福祉学)	兼任 講師	加納 光子 (71) <平成29年10月> 修士(社会福祉学)	加納 光子 (72) <平成29年10月> 修士(社会福祉学)		
		精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ		
					木村 志保 (48) <平成29年10月> 修士(保健福祉学)	木村 志保 (49) <平成29年10月> 修士(保健福祉学)	木村 志保 (50) <平成29年10月> 修士(保健福祉学)
				精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ
						金 文美 (51) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	金 文美 (52) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)
						精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ
			兼任 講師	川口 剛 (50) <平成28年4月> 修士(教育学)	川口 剛 (51) <平成29年4月> 修士(教育学)	川口 剛 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)	川口 剛 (53) <平成29年4月> 修士(教育学)
				英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	木村 年晶 (43) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任 講師	木村 年晶 (42) <平成29年4月> 修士(心理学)			
		心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※		心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※			
					林 美恵子 (45) <平成29年4月> 修士(文学)	林 美恵子 (46) <平成30年4月> 修士(文学)	林 美恵子 (47) <平成30年4月> 修士(文学)
				心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	久保 信代 (49) <平成30年10月> Master of Education (アメリカ)	心理学外書講読
兼任	講師	小林 和代 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (41) <平成29年4月> 博士(心理学)	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※
兼任	講師	坂下 晃祥 (46) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ
兼任	講師	重野 勉 (60) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	関口 靖之 (58) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (67) <平成28年4月> 体育学士	体育実技
兼任	講師	谷 寿夫 (64) <平成30年10月> 修士(社会学)	社会福祉学
兼任	講師	玉置 良行 (49) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	久保 信代 (47) <平成28年4月> Master of Education (アメリカ)	心理学外書講読
兼任	講師	小林 和代 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (40) <平成29年4月> 博士(心理学)	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※
兼任	講師	坂下 晃祥 (45) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ
兼任	講師	重野 勉 (59) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
専任	講師	宿谷(金児)仁美 (44) <平成28年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	関口 靖之 (58) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (67) <平成28年4月> 体育学士	体育実技
兼任	講師	谷 寿夫 (62) <平成30年10月> 修士(社会学)	社会福祉学
兼任	講師	玉置 良行 (49) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	久保 信代 (48) <平成28年4月> Master of Education (アメリカ)	心理学外書講読
兼任	講師	小林 和代 (52) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (41) <平成29年4月> 博士(心理学)	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※
兼任	講師	重野 勉 (60) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	関口 靖之 (59) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	石川 美久 (37) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	谷 寿夫 (63) <平成30年10月> 修士(社会学)	社会福祉学
兼任	講師	玉置 良行 (50) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	久保 信代 (49) <平成28年4月> Master of Education (アメリカ)	心理学外書講読
兼任	講師	小林 和代 (53) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (42) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ※ 心理学実験Ⅱ※
兼任	講師	重野 勉 (61) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
専任	講師	宿谷(金児)仁美 (46) <平成28年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	関口 靖之 (60) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	石川 美久 (38) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	谷 寿夫 (63) <平成30年10月> 修士(社会学)	社会福祉学
兼任	講師	玉置 良行 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	久保 信代 (50) <平成28年4月> Master of Education (アメリカ)	心理学外書講読
兼任	講師	小林 和代 (54) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (43) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ※ 心理学実験Ⅱ※
兼任	講師	重野 勉 (62) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
専任	講師	松本 教 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	関口 靖之 (61) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	石川 美久 (39) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	谷 寿夫 (64) <平成30年10月> 修士(社会学)	社会福祉学
兼任	講師	玉置 良行 (52) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中谷 聡 (41) <平成28年4月> 修士(新聞学)	中谷 聡 (41) <平成28年4月> 修士(新聞学)
兼任	講師	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士
兼任	講師	御前 由美子 (56) <平成29年4月> 博士(臨床福祉学)	御前 由美子 (55) <平成28年4月> 博士(臨床福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中戸 一子 (68) <平成28年4月> 修士(文学)	中戸 一子 (68) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	波能 満 (62) <平成28年4月> 教育学博士	波能 満 (62) <平成28年4月> 教育学博士
兼任	講師	藤原 由美 (39) <平成28年4月> 修士(言語文化学)	藤原 由美 (39) <平成28年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	松浦 弘司 (68) <平成28年4月> 文学士	松浦 弘司 (68) <平成28年4月> 文学士
兼任	講師	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士
兼任	講師	御前 由美子 (56) <平成29年10月> 博士(臨床福祉学)	御前 由美子 (55) <平成28年4月> 博士(臨床福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中戸 一子 (69) <平成29年4月> 修士(文学)	中戸 一子 (69) <平成29年4月> 修士(文学)
兼任	講師	波能 満 (63) <平成29年4月> 教育学博士	波能 満 (63) <平成29年4月> 教育学博士
兼任	講師	藤原 由美 (40) <平成29年4月> 修士(言語文化学)	藤原 由美 (40) <平成29年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	正木(大又)みき (48) <平成28年4月> 修士(文学)	正木(大又)みき (48) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	松浦 弘司 (69) <平成29年4月> 文学士	松浦 弘司 (69) <平成29年4月> 文学士
兼任	講師	的場 輝佳 (74) <平成28年4月> 農学博士	的場 輝佳 (74) <平成28年4月> 農学博士
兼任	講師	御前 由美子 (56) <平成29年10月> 博士(臨床福祉学)	御前 由美子 (56) <平成29年10月> 博士(臨床福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中戸 一子 (70) <平成29年4月> 修士(文学)	中戸 一子 (70) <平成29年4月> 修士(文学)
兼任	講師	波能 満 (64) <平成29年4月> 教育学博士	波能 満 (64) <平成29年4月> 教育学博士
兼任	講師	藤原 由美 (41) <平成29年4月> 修士(言語文化学)	藤原 由美 (41) <平成29年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	正木(大又)みき (49) <平成28年4月> 修士(文学)	正木(大又)みき (49) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	松浦 弘司 (70) <平成29年4月> 文学士	松浦 弘司 (70) <平成29年4月> 文学士
兼任	講師	的場 輝佳 (75) <平成28年4月> 農学博士	的場 輝佳 (75) <平成28年4月> 農学博士
兼任	講師	御前 由美子 (57) <平成29年10月> 博士(臨床福祉学)	御前 由美子 (57) <平成29年10月> 博士(臨床福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	講師	中戸 一子 (71) <平成29年4月> 修士(文学)	中戸 一子 (71) <平成29年4月> 修士(文学)
兼任	講師	加藤 典子 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	加藤 典子 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
兼任	講師	新庄谷 洋子 (61) <平成29年4月> 修士(言語文化学)	新庄谷 洋子 (61) <平成29年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	藤原 由美 (42) <平成29年4月> 修士(言語文化学)	藤原 由美 (42) <平成29年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	正木(大又)みき (50) <平成28年4月> 修士(文学)	正木(大又)みき (50) <平成28年4月> 修士(文学)
兼任	講師	松浦 弘司 (71) <平成29年4月> 文学士	松浦 弘司 (71) <平成29年4月> 文学士
兼任	講師	水間 智哉 (52) <平成31年4月> 博士(農学)	水間 智哉 (52) <平成31年4月> 博士(農学)
兼任	准教授	御前 由美子 (58) <平成31年4月> 博士(臨床福祉学)	御前 由美子 (58) <平成31年4月> 博士(臨床福祉学)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・久保信代について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任准教授として採用し「心理学外書講読」を担当。
- ・専任准教授 渡部(神谷)敦子の退職に伴い、専任講師 竹橋 洋毅を後任補充。
- ・宿谷(金児)仁美について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任講師として採用し「外国語で親しむ心理学」を担当。
- ・兼任教授 甲斐悟について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任教授 齋藤千鶴の就任辞退に伴い、「社会福祉概論」の担当教員を兼任講師 鴻上圭太に変更。
- ・兼任教授 杉本敏夫の退職に伴い職名が兼任講師へ変更。
- ・兼任教授 長見まき子について、教育内容の充実を図るため、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」の担当教員を兼任教授 福田早苗に変更。
- ・兼任教授 平田まりの退職に伴い、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」の担当教員を兼任教授 藤岡弘季に変更。
- ・兼任教授 吉田初恵について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 池上徹について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 藤原和美の退職に伴い、兼任准教授 治部哲也の担当科目として「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」を追加。
- ・兼任准教授 立花直樹について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 築地典絵について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、開講時まで「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の後任補充予定。
- ・兼任准教授 新川泰弘について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 西元(山本)直美について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 廣島玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 廣島玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 藤原和美の退職に伴い、兼任准教授 治部哲也の担当科目として「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」を追加。
- ・兼任准教授 寶田(上杉)玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 柿木志津江が准教授に昇任。
- ・兼任講師 川村小千代「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」について、教育内容の充実を図るため、オムニバス担当教員として追加。
- ・兼任講師 香田健治について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 辻陽子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 鼓美紀について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 松村歌子が准教授に昇任。全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 森尚彰について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 由利禄巳について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 イアン・ハリス・キャンベルの就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 磯崎恵子に変更。
- ・兼任講師 太田直希の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼任講師 山崎英幸に、「体育実技」を兼任講師 三村達也に変更。
- ・兼任講師 大又 巧也の一部就任辞退に伴い、「情報処理学Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 大森幸幸に変更。
- ・兼任講師 加藤典子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 久保信代について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任准教授として採用し「心理学外書講読」を担当。
- ・兼任講師 宿谷(金児)仁美について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任講師として採用し「外国語で親しむ心理学」を担当。
- ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 波能満について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 御前由美子について、社会福祉学科の専任教員として採用されたことに伴い兼任に変更。

【平成29年度】

- ・専任教授 山田富美雄について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅣ」の担当教員を専任教授 相谷登に変更。
- ・専任教授 山田富美雄について、専門分野ごとの開講クラス数調整及び教育指導体制の充実のため、「基礎ゼミナールⅢ」「心理学基礎実験実習Ⅱ※」の担当教員として追加。
- ・専任教授 相谷登について、授業運営体制の見直しに伴い「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目より削除。後任補充なし。
- ・専任教授 相谷登について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅢ」の担当教員を専任教授 山田富美雄に変更。
- ・専任教授 相谷登について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅣ」の担当教員として追加。
- ・専任教授 宇恵弘について、教育指導体制の充実のため、「心理学基礎実験実習Ⅰ※」の担当教員として追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」の担当教員を専任教授 谷向みつえに変更。
- ・専任教授 谷向みつえについて、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」の担当教員として追加。
- ・専任講師 木村志保が准教授に昇任。兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い「精神保健福祉援助技術各論Ⅱ」を担当科目として追加。
- ・専任講師 竹橋洋毅について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」を担当科目として追加。
- ・専任講師 津田恭亮について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」の担当教員を専任講師 竹橋洋毅に変更。
- ・兼任教授 志水秀郎の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当教員を兼任教授 中村敏子に変更
- ・兼任教授 宮野安治の就任辞退に伴い担当科目を削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任教授 森明彦の退職に伴い、担当教員を兼任講師 森明彦に変更。
- ・兼任准教授 鈴木真について、柿木志津江の就任辞退に伴い「キャリアデザイン※」を担当科目として追加。
- ・兼任准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の担当者を兼任講師 御前由美子に変更。
- ・兼任准教授 新川泰弘の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 島田恭仁に変更。
- ・兼任准教授 馬場耕造の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当者を兼任准教授 坂口充弘に変更。
- ・兼任講師 家高将明が准教授に昇任。
- ・兼任講師 小口将典が准教授に昇任。
- ・兼任講師 柿木志津江の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」の担当者を兼任准教授 鈴木真に変更。
- ・兼任講師 辻陽子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 塩津裕康に変更。
- ・兼任講師 鼓美紀の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 中山淳に変更。
- ・兼任講師 西村節子が准教授に昇任。
- ・兼任講師 磯崎恵子の就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 新任谷洋子に変更。
- ・兼任講師 山崎英幸の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼任講師 西川潔に変更。
- ・兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い、「精神保健福祉援助技術各論Ⅱ」の担当者を専任准教授 木村志保に変更。
- ・兼任講師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 木村年晶の就任辞退に伴い、「心理学基礎実験実習Ⅰ、Ⅱ※」の担当者を兼任講師 林美恵子に変更。
- ・兼任講師 坂下晃幹の就任辞退に伴い、「精神科リハビリテーション学Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 辻 陽子に変更。
- ・兼任講師 高木信良の就任辞退に伴い、「体育実技」の担当者を兼任講師 石川美久に変更。
- ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 波能満について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 波能満の就任辞退及び全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 新任谷洋子に変更。
- ・兼任講師 新任谷洋子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の担当者を兼任講師 御前由美子に変更。

【平成30年度】

- ・専任教授 山田富美雄について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「健康心理学」を「健康・医療心理学」に、「心理学基礎実験実習Ⅱ※」を「心理学実験Ⅱ※」に名称変更。
- ・専任教授 山田富美雄について、公認心理師受験資格対応のため「公認心理師の職責」を新設し担当科目に追加。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「人格（性格）心理学」を「感情・人格心理学」に名称変更。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 栗村（佐野）昭子について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理アセスメント実習Ⅰ※」を「心理的アセスメントⅠ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任教授 竹橋洋毅に変更。
- ・専任教授 栗村（佐野）昭子について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「臨床心理学」を「臨床心理学概論」に名称変更。
- ・専任教授 栗村（佐野）昭子について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任教授 栗村（佐野）昭子について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 栗村（佐野）昭子について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 宇恵弘について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「教育心理学」を「教育・学校心理学」に、「心理統計法Ⅰ」を「心理学統計法Ⅰ」に、「心理学基礎実験実習Ⅰ※」を「心理学実験Ⅰ※」に名称変更。
- ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「医学概論」を「人体の構造と機能及び疾病」に、「精神医学概論」を「精神疾患とその治療」に名称変更。
- ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「障害児（者）心理学」を「障害者・障害児心理学」に、「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 島井哲志について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「社会心理学」を「社会・集団・家族心理学」に名称変更。
- ・専任教授 谷向みづえについて、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任教授 櫻井秀雄に変更。
- ・専任教授 谷向みづえについて、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 谷向みづえについて、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 久保信代について、兼任准教授 一村小百合の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・専任准教授 久保信代について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 久保信代について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 多田（鈴木）美香里について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習Ⅰ※、Ⅱ※」を「心理学実験Ⅰ※、Ⅱ※」に、「心理統計法Ⅱ」を「心理学統計法Ⅱ」に名称変更。
- ・専任准教授 木村志保について、教育指導上の教員配置見直しに伴い「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・専任准教授 木村志保について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 木村志保について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 宿谷（金児）仁美について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 宿谷（金児）仁美について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 竹橋洋毅が准教授に昇任。
- ・専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任教授 栗村（佐野）昭子に変更。
- ・専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任講師 津田恭充に変更。
- ・専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応に伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当教員を専任講師 津田恭充に変更。
- ・専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理アセスメント実習Ⅰ※」を「心理的アセスメントⅠ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「カウンセリング論」を「心理学的支援法」に、「心理アセスメント実習Ⅰ※」を「心理的アセスメントⅠ※」に名称変更。
- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習Ⅰ※」を「心理演習Ⅰ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・兼任教授 遠藤洋二の就任辞退に伴い、「社会福祉行政概論」の担当者を兼任講師 今井慶宗に変更。
- ・兼任教授 齋藤千鶴について、兼任教授 安井理夫の就任辞退に伴い「コミュニティワーク」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 杉本敏夫の就任辞退に伴い、「社会福祉援助技術総論Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 安井理夫に変更。
- ・兼任教授 津田耕一の就任辞退に伴い、「障害者福祉論Ⅰ」の担当者を兼任准教授 柿木志津江に変更。
- ・兼任教授 林龍平について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「学習心理学」を「学習・言語心理学」に名称変更。
- ・兼任教授 水島正二郎について、兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い「コンピュータサイエンス」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 安井理夫の就任辞退に伴い、「社会福祉原論Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任准教授 家高将明に変更。
- ・兼任教授 安井理夫の就任辞退に伴い、「コミュニティワーク」の担当者を兼任教授 齋藤千鶴に変更。
- ・兼任教授 安井理夫について、兼任講師 杉本敏夫の就任辞退に伴い「社会福祉援助技術総論Ⅰ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 山内彰について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任教授 山口美和について、兼任准教授 家高将明の就任辞退に伴い「キャリアデザイン※」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 池上徹の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任准教授 加藤友野に変更。

- ・兼任准教授 一村小百合の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を専任准教授 久保信代に変更。
- ・兼任准教授 木村貴彦が教授に昇任。
- ・兼任准教授 治部哲也が教授に昇任。
- ・兼任教授 治部哲也について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「生理心理学」を「神経・生理心理学」に名称変更。
- ・兼任准教授 鈴木真の退職に伴い、「哲学」、「倫理学」の担当者を兼任准教授 久保田祐歌に変更及び「キャリアデザイン※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任准教授 立花直樹の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」、「キャリアデザイン※」の担当者を兼任准教授 久保田祐歌に変更。
- ・兼任准教授 寶田(上杉)鈴子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 三田村知子に変更。
- ・兼任准教授 松本明美が教授に昇任。
- ・兼任准教授 家高将明の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 間井谷容代に変更。
- ・兼任准教授 家高将明の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」の担当者を兼任教授 山口美和に変更。
- ・兼任准教授 家高将明について、兼任教授 安井理夫の就任辞退に伴い「社会福祉原論Ⅰ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 小口将典の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 伊藤利明に変更及び「キャリアデザイン※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任准教授 柿木志津江の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 藤岡弘季に変更。
- ・兼任准教授 柿木志津江について、兼任教授 津田耕一の就任辞退に伴い「障害者福祉論Ⅰ」を担当科目に追加。
- ・兼任助教 塩津裕康の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 北岡かおりに変更。
- ・兼任講師 津吉哲士について、兼任准教授 松村歌子の就任辞退に伴い「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 松村歌子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 津吉哲士に変更。
- ・兼任講師 森尚彰の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 有末伊織に変更。
- ・兼任講師 由利隼巳の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 酒井希代江に変更。
- ・兼任助教 砂川耕作について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員に追加。
- ・兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い、「コンピュータサイエンス」の担当者を兼任教授 水鳥正二郎に変更。
- ・兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い、「精神保健学Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 金文美に変更。
- ・兼任講師 林美恵子について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習Ⅰ※、Ⅱ※」を「心理学実験Ⅰ※、Ⅱ※」に名称変更。
- ・兼任講師 佐伯(豊田)恵里奈について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習Ⅰ※、Ⅱ※」を「心理学実験Ⅰ※、Ⅱ※」に名称変更。
- ・兼任講師 谷寿夫の就任辞退及び公認心理師受験資格対応のため「社会福祉学」を「福祉心理学」に名称変更のうえ、担当者を兼任講師 鴻上圭太に変更。
- ・「関係行政論」について、公認心理師受験資格対応のため新設。開講までに後任補充予定。

【令和元年度】

- ・専任教員 山田富美雄について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「環境心理学」の担当教員を専任講師 松本敦に変更。
- ・専任教員 相谷登について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「犯罪心理学」を「司法・犯罪心理学」に名称変更。また、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」の担当教員を専任教員 川上龍夫に変更。
- ・専任教員 粟村(佐野)昭子について、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」の担当教員を専任教員 島井哲志に変更。
- ・専任教員 柏木雄次郎について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅣ」の担当教員を専任准教授 津田恭亮に変更し、「基礎ゼミナールⅢ」を担当科目に追加。また、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」の担当教員を専任講師 松本敦に変更。
- ・専任教員 亀島(最上)信也について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「基礎ゼミナールⅢ」の担当教員を専任講師 松本敦に変更及び「基礎ゼミナールⅣ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。また、専任准教授 竹橋洋毅の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・専任教員 川上龍夫について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「研究演習Ⅰ、Ⅱ」の担当教員を専任准教授 木村志保に変更。また、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」を担当科目に追加。
- ・専任教員 櫻井秀雄について、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・専任教員 島井哲志について、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」を担当科目に追加。
- ・専任教員 谷向みつえについて、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理臨床と面接」の担当教員を兼任講師 大西見也子に変更。
- ・専任教員 多田(鈴木)美香里について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「認知心理学」を「知覚・認知心理学」に名称変更。
- ・専任准教授 木村志保について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「研究演習Ⅰ、Ⅱ」を担当科目に追加。また、教育指導上の教員配置見直し及び公認心理師受験資格取得希望者数に応じて、「心理演習Ⅰ※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・専任講師 宿谷(金児)仁美の退職に伴い、「外国語で読む心理学」の担当者専任講師 松本敦に変更及び「心理演習Ⅰ※」、「心理実習」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・専任准教授 竹橋洋毅の退職に伴い、職名を兼任講師へ変更し、「基礎ゼミナールⅢ」、「研究演習Ⅰ、Ⅱ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。また、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を専任教員 亀島(最上)信也に変更及び「心理的アセスメントⅠ※」の担当教員を専任講師 松本敦に変更。
- ・専任講師 津田恭亮について、准教授に昇任。専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅢ」の担当教員を専任教員 柏木雄次郎に変更し、「基礎ゼミナールⅣ」を担当科目に追加。また、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「行動分析学」の担当教員を兼任講師 野田航に変更。
- ・松本敦について、教育指導体制充実のため専任講師として採用し、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ」、「外国語で読む心理学」、「神経・生理心理学」、「環境心理学」、「心理的アセスメントⅠ※」、「心理演習Ⅰ※」を担当。
- ・兼任教授 伊倉宏司の退職に伴い、職名を兼任講師へ変更し、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当教員を兼任講師 大迫雅人に変更及び専任教員 渡辺正仁の退職に伴い、「化学入門」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 大川尚子の退職に伴い、「総合教養Ⅲ-健康の世界※」の担当教員を兼任教授 齊藤ふくみに変更。
- ・兼任教授 甲斐悟の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を兼任講師 工藤芳幸に変更。
- ・兼任教授 相良多喜子の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当教員を兼任教授 榎秀之に変更。
- ・兼任教授 福田早苗について、後任未定となっていた「関係行政論※」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 水間智哉について、兼任講師 的場輝佳の退職に伴い、「総合教養Ⅰ-河内学※」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 峯正敏について、兼任講師 北岡かおりの退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 森明彦の就任辞退に伴い、「人権教育」の担当教員を兼任准教授 松村歌子に変更。
- ・兼任教授 森植章の就任辞退に伴い、「基礎科学概論※」の担当教員を兼任講師 森尚彫に変更。
- ・兼任教授 山内彰について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅣ」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 山口美和の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」の担当教員を兼任准教授 家高得明に変更。
- ・専任教員 渡辺正仁の退職に伴い、「生命科学概論※」の担当教員を専任教員 早崎華に変更及び「化学入門」の担当教員を兼任講師 伊倉宏司に変更。
- ・兼任准教授 池上徹について、後任未定となっていた「関係行政論※」を担当科目に追加。
- ・兼任教授 治部哲也について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「神経・生理心理学」の担当教員を専任講師 松本敦に変更。
- ・兼任准教授 松中久美子について、後任未定となっていた「関係行政論※」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 山路純子について、教授に昇任。
- ・兼任准教授 家高得明について、兼任教授 山口美和の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 間井谷容代の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を専任講師 松本敦に変更。
- ・兼任教授 藤岡弘季の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を兼任准教授 松村歌子に変更。
- ・兼任講師 北岡かおりの退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を兼任教授 峯正敏に変更。
- ・兼任助教 中山淳の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員を兼任助教 本多伸行に変更。
- ・兼任講師 津吉哲士について、准教授に昇任。
- ・兼任准教授 松村歌子について、兼任教授 藤岡弘季の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加及び兼任講師 森明彦の就任辞退に伴い、「人権教育」を担当科目に追加。また、後任未定となっていた「関係行政論※」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 加藤典子について、兼任講師 波能満の退職に伴い、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 波能満の退職に伴い、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員を兼任講師 加藤典子に変更。
- ・兼任講師 的場輝佳の退職に伴い、「総合教養Ⅰ-河内学※」の担当教員を兼任教授 水間智哉に変更。
- ・兼任講師 御前由美子について、准教授に昇任。
- ・後任未定となっていた「関係行政論※」について、兼任教授 福田早苗、兼任准教授 池上徹、兼任准教授 松村歌子、兼任准教授 松中久美子を担当教員に追加。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A.C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
10	2	2	0	14	10	4	1	0	15
(10)	(2)	(2)	(0)	(14)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
10	4	1	0	15	10	4	1	0	15
[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{14} = \boxed{107.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	渡部（神谷）敦子	必修	基礎ゼミナールⅢ	①	平成27年9月14日付で一身上の都合により退職届提出（28）	
			選択	学校心理学	①		
			選択	児童心理学	①		
			必修	心理アセスメント実習Ⅱ※	①		
			必修	心理学実践領域実習Ⅱ※	①		
			必修	研究演習Ⅰ	①		
			必修	研究演習Ⅱ	①		
			必修	研究演習Ⅲ	①		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	竹橋 洋毅	必修	基礎ゼミナールⅠ	①	H31.3.31付けで一身上の都合により辞任（元）	
			必修	基礎ゼミナールⅡ	①		
			必修	基礎ゼミナールⅢ	③		
			選択	学校心理学	②		
			選択	児童心理学	②		
			必修	心理的アセスメントⅠ※	①		
			必修	研究演習Ⅰ	③		
			必修	研究演習Ⅱ	③		
			必修	研究演習Ⅲ	②		
2	講師	宿谷（金児）仁美	選択	外国語で親しむ心理学	①	H31.3.31付けで一身上の都合により辞任（元）	
			必修	心理演習Ⅰ※	③		
			選択	心理実習	③		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	9 科目	必修	3 科目	必修	2 科目
		選択	4 科目	選択	1 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	科目
		計	13 科目	計	4 科目	計	4 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3	人	必修	16 科目	必修	10 科目	必修	2 科目	必修	4 科目
		選択	6 科目	選択	3 科目	選択	2 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	13 科目	計	4 科目	計	5 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		【該当なし】							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年9月14日付で渡部(神谷)敦子准教授が退職届を提出したことに伴い、直ちに公募を通じて後任補充を行ったので、教育研究活動に支障は生じていない。なお、渡部(神谷)敦子准教授の担当は2年前期以降の開講科目であり、平成28年度の科目担当者配置及び学生に対する影響はない。(28)

・ 平成31年3月31日付で竹橋洋毅准教授、宿谷(金児)仁美講師が辞任したことに伴い、直ちに専任教員を補充するとともに現職専任教員を中心に担当科目の見直しを行うことで教育研究活動の質を担保した。なお、学生へは令和元年度学生便覧等を通じて周知しており、支障は生じていない。(元)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (平成28年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	退職等による後任補充時に、教育課程を維持することを考慮し、専門領域、職位、年齢構成のバランスを勘案しながら補充を行う。後任補充に当たっては、公募、他学部他学科からの異動等も含め教育・研究業績、経験等を審査し適任者を確保するとともに、年齢構成の偏りがないうち中堅・若手教員の採用を視野に入れ、教育・研究の継続性を確保する。 (上記に基づき、専任准教授渡部(神谷)敦子の退職に伴い、専任講師竹橋洋毅を後任補充した) (28)	留意事項	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理科学部 心理科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>公認心理師法の施行（平成29年9月15日）に伴い、学部生の進路選択の幅を広げるため、設置計画を担保しつつカリキュラムの一部を改訂し、公認心理師国家試験受験資格取得要件に対応した。具体的には、同法及び同法施行規則の定めに応じ、開講科目名称の変更及び開講科目の追加（3科目）を行った。（30）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会（平成18年度～）※平成23年度より授業評価委員会（平成18年度～）を統合した。【別紙1】</p> <p>SD委員会（平成26年度～）※平成29年度より教員も構成員となった。【別紙2】</p> <p>b 委員会の開催状況</p> <p>FD委員会は全4回開催した。</p> <p>SD委員会は全1回開催した。その他ワーキンググループで別途検討がなされた。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会は、FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価、教員の研修計画立案・実施などに関連する事項を取り扱う。</p> <p>SD委員会は、SDの企画立案及び実施に関する事項、職場内外の研修に関する事項、その他SDに関する事項を取り扱う。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. FD委員会</p> <p>(1) 学科の特徴や問題点を踏まえたFD活動の目標設定と実施</p> <p>(2) 自己点検表による授業の自己分析の実施</p> <p>(3) 兼任講師の教育活動表彰に関すること</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）【別紙3】</p> <p>(1) 授業アンケートの実施</p> <p>(2) 教員研修会の計画・実施</p> <p>(3) 学外FD研修会への参加奨励（参加費・交通費の補助）</p>
--

3. SD委員会

(1) 財務勉強会の実施

b 実施方法

1. FD委員会：学科毎のFD活動の取組み報告と、授業の自己分析実施の企画と遂行。授業アンケート結果より兼任教員の顕彰検討。
2. IR・FD・アドミッション推進室：全教職員（主に専任）を対象に全学的なFDに関するプログラムを企画し実施する。
3. SD委員会：全職員及び教員（主に専任）を対象に研修会を企画し実行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD委員会

- (1) 学科で当該年度におけるFD活動計画を立案し第2回委員会でその内容を報告。第3回委員会での中間報告、その後、最終結果として活動内容と成果を報告書にまとめ、全教員へ公開した。
 - (2) 専任教員において、担当1科目を対象として秋学期授業アンケート結果を参考に自己点検表を作成し、そのプロセスを通じて授業改善・振り返りを行う。
 - (3) 6学科のFD活動の計画書でPDF冊子を作成し、学内の各種会議で報告を行った。
また、活動の報告書はPDF冊子を作成した。
- #### 2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）
- (1) 秋学期の授業アンケートの実施計画を立案し実施した。
 - (2) 4月初めには教学方針の変更に関する研修会を行い、136名が参加した。併せて新任教員10名に対して教学について別途研修会を実施した。
 - (3) 退学率抑制を焦点においたエンロールメントマネジメントをテーマに教員研修会を実施し、118名が参加した。
 - (4) 月に1回程度の頻度で専任教員向けに学内情報共有システム（サイボウズ）により学外研修会の案内を発信し、延べ10名の教員が参加した。

3. SD委員会

- (1) 専任教職員を対象に財務勉強会を実施し、参加者の内41名が教員であった。
本学の財務状況についての報告が法人本部より行われ、経営的視点をより深める機会となった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会では、学生の授業アンケート結果をふまえた自己点検表による授業の振り返りを行い、改善へつなげるプログラムを推進している。また、学科におけるFD活動の目標設定と実施を通じて、組織的な活動が展開できている。

IR・FD・アドミッション推進室では、教員の自己啓発に資する取組みとして重要と考えるテーマで研修会を開催している。

また、学生による授業アンケートを実施し、授業改善のための資料のひとつとして教員にフィードバックしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業アンケートを秋学期（11/14～1/15）に全623科目を対象に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを実施した全524科目の個人別・科目別結果は、担当教員が自ら確認し、授業内でフィードバックに努めた。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

該当なし

② 審議状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【別紙4】

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では、「自己点検・評価委員会」（以下「委員会」）を設置している。「大学自己点検・評価規程」により原則として、3年ごとに本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況について、全学的な自己点検・評価を実施している。全学的な自己点検・評価は、日本高等教育評価機構の定める基準を準用することとし、その結果は、学内教職員に共有するとともに、大学ホームページ上に公表している。

平成27年度は認証評価機関（日本高等教育評価機構）を受審しており、評価結果とともに報告書全文を平成28年4月にホームページ上で公表した。

なお、当該対象学部を含む自己点検・評価については、上記規程に基づき令和元年度に実施する予定である。

b 公表方法

従来より自己点検・評価結果は、全教職員で情報を共有すると共に大学ホームページ上でも公表している。当該対象学部を含む自己点検・評価結果は、報告書を刊行するとともに令和2年5月頃に大学ホームページ上での公表を予定している。

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度までに認証評価機関（日本高等教育評価機構（予定））の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。